

# 優れている人的・地理的条件

## 産業の発展は教育が根幹

十月二十日、長岡東部公民館で  
市政懇談会が開かれました。



この市政懇談会は、長岡東部地区の社会各層で年一回行なっているもので、こととして六回目、小笠原市長としては初めての市民との対話集会となりました。

当日は、市の執行部から小笠原市長、国沢助役のほか九人の課長が出席、南国市といえば赤字、赤字といえば南国市、とマスコミ報道されるなど、財政事情のみでも重要な問題がある。

という、黒岩清館長のあいさつのおと、小笠原市長は「市政を担うのは一年、財政、同和、空港が市政の重要課題だ、赤字ができたから直ぐ失政とはいえない。それ相応の行政がなされており、国の政治の対応の仕方が悪いことも原因だ。南国市は人的、地理的条件も優れていて、努力すれば活気あるまちに発展する。それには教育が根幹だ、産業の発展は教育の振興にかかっている。空港はようやく話し合いの場がもたれることになった」と所信を述べ、三十人ほどの地元の人々とひざを交わしての対話が行なわれました。

### 対話集会

それは行政の基となるものです。  
市民に接し、話し合い理解し合うことは、行政を付託されたものの義務といえます。  
市長とひざを交える

市を知り、  
市民を知る

対話集会は、市民の赤裸々な声を市長に伝える一つの方法です。  
市発展のための建設的な意見は、お互いが尊重し合い、よりよい町づくりの糧としたいものです。

### 長岡東部で



現在の財政事情ではしのびないことだが止むを得ない。日本は日本に即した福祉行政を考えるべきだ。税金が高く、しかも所得の高いヨーロッパの真似をするに無理がある。

市の老人年金が打ち切られたが、社会保障制度への逆行ではないか。

同和奨学金は生活の基盤

同和奨学金はどのような観点に立っているのか。教育によって生活基盤の向上が得られる。就学、就職の機会均等をほかり、身分の保償されている会社、官庁などへの就職を可能ならしめるための施策である。安定した職場につけるためにはそれだけの修養を積むことが大切。制度はつづけてゆく。

同和団体に対する補助金は……

長い伝統をもって活動している団体を摘みとることはできない。補助金の使途については、内容を吟味して使ってもらおうようにしている。

失対事業はどのようにしているのか、……

時と違つて仕事も少なく、大月町や大正町、野市町は止めたと聞くが、縮小する考えはないか、手当はどうか。

法のもとで身分を保障されている、失対就労者は二八六八人、県営一七八八人、市営一〇八八人で手当は春、夏、秋、冬の四回。しかし国と県は夏と冬の二回のみで、いずれも市町村の負担が多い。ことしは昨年を下回る額で支出することになっている。手当の多いのは基本給の低いことにある。就労は月二十日に限定されており、手取り四万円前後となる。

就労者も高齢化し(最高七十四歳)、他への就職は困難、新規就労はできないので、自然減少を待つ以外はない。

### 同和奨学金は生活の基盤



市(県・類似団体)単位%

	48年度	49年度	50年度
人件費	45.5(40.7・40.8)	48.7(45.7・44.8)	50.0(45.3・一)
物件費	9.5(10.1・10.0)	13.6(9.8・9.6)	10.4(8.6・一)
維持補修費	0.6(1.5・2.1)	0.8(1.3・1.9)	0.8(1.1・一)
扶助費	8.8(10.2・3.8)	9.1(9.7・4.3)	11.6(10.2・一)
補助金等	8.4(6.3・9.4)	6.1(6.1・9.6)	12.1(7.6・一)
公債費	12.0(9.7・7.2)	13.7(12.4・7.1)	16.7(14.1・一)
計	84.8(78.5・73.5)	92.0(85.0・77.4)	100.9(86.9・一)

### 望まれる普通高校

市の発展のためには、人材を作ることが大切だ。普通高校を作ってほしい。

必要だと思う。市民から盛り上げたい。意見が大切。

社会教育や社会体育施設が乏しい。高が池中の跡地などの活用を考えてほしい。

跡地については社会教育審議会にはかつて考えた。遊休用地はグラウンドなどに活用したい。

ことしから学校施設の一般への開放がいわれており、活用ができる。しかし、モラルの問題があるので、相互に協調、協力のもとで開放してもらいたい。

職員の人件費は高いことはな

### 選管委員長に藤宗俊雄氏

市選挙管理委員長は、国沢嘉一委員長の急逝にもない、委員長に藤宗俊雄氏、委員長代理に本田幸男氏をこのほど選任しました。なお、新委員長に井上新一(55)氏、補選委員長に藤宗俊雄氏を

### 老人に生きがいを



老人に生きがいを持たすための老人対策(就労)

### 市政報告会(11月24日PM7時)三和公民館

入職)は……

県で来年四月から、六十五歳以上で就労希望者を登録し、内職やパートなど、仕事のあつせんをしようとする準備を進めており、法人組織で発足する見通しがある。

市立図書館を設置してほしい

図書館はぜひほしいものだ。しかし、人員などの配置や経費の面からみて現状では実現が困難である。

内職)は……

入件費が高いといつて、減給することはできない。国の決めている標準財政規模の職員数との違いや、給与体系にも問題がある。

連絡員へ業者から物品の販売あつせんなどの文書がくるが、そのまま放置してよいか、……連絡員名簿の外部への提供は慎重にしてほしい。

物品販売の文書は業者から直接郵送しており、市から出したもの(封筒などで確認)以外は、連絡員の判断で措置されたい。名簿の外部への提供はつしんでいる。

その他、香南清掃組合への土佐山田町の加入問題、農業トラクタターなど農業機械への課税、市道の改修、広域都市計画路線、納税組合の組織作りなど。

いろいろなことについて、対話がなされ、有意義なひとときを過ごしました。

